

日医発第 612 号（情シ）（技術）  
令和 7 年 7 月 11 日

都道府県医師会 担当理事 殿

公益社団法人 日本医師会  
常任理事 長島 公之  
常任理事 宮川 政昭  
（公印省略）

**電子処方箋の利用状況に関するアンケート回答について（協力依頼）**

平素より本会会務の運営に特段のご理解・ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

電子処方箋の利用状況および運用上の課題を調査し機能・運用改善に役立てることを目的に、電子処方箋の利用状況に関するアンケートを実施するとのことで、その周知依頼が厚生労働省より本会宛にまいりました。

つきましては、貴会におかれましても、本件についてご了解いただくと共に、貴会管下の郡市区等医師会ならびに会員への周知方につき、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本アンケートについて、令和 7 年 7 月 7 日に医療機関等向け総合ポータルサイトからも、各医療機関に対してメールが送られております。

以上

**【回答方法】**

令和 7 年 7 月 7 日に医療機関等向け総合ポータルサイトより配信されるメールに記載の URL、又は下記の URL より回答できます。（所要時間：10 分）

医療機関向け：<https://forms.gle/2BFjoUSTxfJSyuZw5>

※医療機関等向け総合ポータルサイトより配信されるメールはオンライン資格確認導入時等に医療機関等向け総合ポータルサイトにて各医療機関がアカウント登録をした際に登録したメールアドレス宛に送られます。

**【回答期間】**

令和 7 年 7 月 7 日（月）から 7 月 31 日（木）まで

**【別添資料】**

- ・【事務連絡】電子処方箋の利用状況に関するアンケート回答について（協力依頼）
- ・参考資料：【医療機関向け】電子処方箋の活用状況の確認に関するアンケート

事 務 連 絡  
令和 7 年 7 月 9 日

公益社団法人 日本医師会 御中

厚生労働省医薬局総務課

電子処方箋の利用状況に関するアンケート回答について（協力依頼）

日頃より、厚生労働行政に対する御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、電子処方箋の利用状況および運用上の課題を調査し機能・運用改善に役立てることを目的に、下記のとおりアンケートを実施いたします。

つきましては、貴会会員等に本件の周知及び協力依頼をしていただきますようお願いいたします。

記

1、回答方法

令和7年7月7日に医療機関等向け総合ポータルサイトより配信されるメールに記載の URL 又は下記の URL より回答願います。

医療機関向け：<https://forms.gle/2BFjoUSTxfJSyuZw5>

薬局向け：<https://forms.gle/67XKJRW7xic2GzQn6>

2、回答期間

令和7年7月7日（月）から7月31日（木）まで

以上

(別記)

公益社団法人 日本医師会

公益社団法人 日本歯科医師会

一般社団法人 日本病院会

公益社団法人 全日本病院協会

公益社団法人 日本精神科病院協会

一般社団法人 日本医療法人協会

一般社団法人 日本社会医療法人協議会

一般社団法人 日本病院薬剤師会

公益社団法人 日本薬剤師会

一般社団法人 日本保険薬局協会

一般社団法人 日本チェーンドラッグストア協会

一般社団法人 日本薬局協励会

質問への回答は一部（赤文字で明記）を除いて全て選択式で、単一回答かつ回答必須です

以下、アンケートの本編

---

### 【医療機関向け】電子処方箋の活用状況の確認に関するアンケート

日頃より電子処方箋へご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今後、電子処方箋をより良くしていくために電子処方箋の導入効果を検証しております。医療機関の特徴ごとに分析を行うために、あなたの医療機関に関するアンケートにご協力いただきますと幸いです。（所要時間：約 10 分、回答期限：7 月 31 日(木)）

1. あなたの医療機関の名称を教えてください。
  - ・ 短文回答 入力制限なし
2. あなたの医療機関がある都道府県を選択してください。
  - ・ プルダウンより 47 都道府県から選択
3. あなたの医療機関の医療機関種別を教えてください。
  - ・ 医科
  - ・ 歯科
4. あなたの医療機関の医療機関コードを半角、7 桁で入力してください。  
※10 桁のコードについては、最初の 3 桁（都道府県コード 2 桁及び点数表コード 1 桁）は入力せず、診療報酬明細書に記載する医療機関コードと同様の 7 桁を記載して下さい。
  - ・ 短文回答 半角数字 7 桁

## セクション2

あなたの医療機関について教えてください。

5. あなたの医療機関と同一グループの医療機関数（個人の場合は個人で経営する医療機関数）を選択してください（自院を含む）。

- ・ 1
- ・ 2
- ・ 3～4
- ・ 5～9
- ・ 10～14
- ・ 15～19
- ・ 20～29
- ・ 30～99
- ・ 100～299
- ・ 300 以上

6. あなたの医療機関の診療科を選択してください。（複数選択可）

- ・ 内科
- ・ 小児科
- ・ 皮膚科
- ・ 精神科
- ・ 外科
- ・ 整形外科
- ・ 産婦人科
- ・ 眼科
- ・ 耳鼻咽喉科
- ・ 泌尿器科
- ・ 脳神経外科
- ・ 放射線科
- ・ 麻酔科
- ・ 病理
- ・ 臨床検査
- ・ 救急科
- ・ 形成外科
- ・ リハビリテーション科
- ・ 総合診療
- ・ 歯科

- ・ その他:
7. あなたの医療機関の周囲にあって、よく処方箋が持ち込まれる薬局について教えてください。
- 門前薬局：医療機関の隣や向かいに立地している薬局
- ・ 単一の門前薬局
  - ・ 敷地内の単一の薬局
  - ・ 近隣の複数の薬局（門前薬局が複数存在する等）
  - ・ 上記に該当する薬局は存在しない
8. あなたの医療機関では地域フォーミュラリーを運用していますか。
- 地域フォーミュラリーとは、同一地域内の医療機関や薬局などが連携し、その地域で優先的に使用する医薬品を選定・標準化する方針のことです。
- ・ はい
  - ・ いいえ
  - ・ わからない
9. あなたの医療機関では電子カルテや臨床意思決定支援システム（CDSS）等によって処方誤りに関するアラートが行われますか。
- CDSS(臨床意思決定支援システム)とは、医療従事者の診断や治療の判断を支援するために、患者データや最新の医療知識を活用して支援を実施するシステムです。
- ・ アラートが行われる
  - ・ アラートが行われるが使用していない
  - ・ アラートが行われない
  - ・ わからない

### セクション3

あなたの医療機関の来院数や処方箋発行数について教えてください。

来院数等をシステムから取得することが難しい場合は、日々の業務を参考に最も当てはまると考えられる選択肢を選んでください。

月次の値を算出することが困難である場合は、日次の値から算出いただきますようお願いいたします。

10. 2025 年 5 月の来院数を教えてください。

同じ患者さんが月に 2 回来院された場合は 2 回と数えてください。

- ・ 0～300
- ・ 301～700
- ・ 701～1,500
- ・ 1,501～3,000
- ・ 3,001～
- ・ わからない

11. 2025 年 5 月の院外処方を行った処方箋発行枚数を教えてください。

- ・ 0～300 枚
- ・ 301～700 枚
- ・ 701～1,500 枚
- ・ 1,501～3,000 枚
- ・ 3,001 枚～
- ・ わからない

12. 2025 年 5 月の病床数を教えてください。

- ・ 0～19 床
- ・ 20～49 床
- ・ 50～100 床
- ・ 100～199 床
- ・ 200 床以上
- ・ わからない

13. 2025 年 5 月に発行した処方箋のいわゆる Do 処方（繰り返し行う同内容の

処方） の内、前回と全く同じである Do 処方に該当する患者さんの割合を教えてください。

システムから取得することが難しい場合は、日々の業務を参考に最も当てはまると考えられる選択肢を選んで ください。

- ・ 0～5%（ほとんどない）
- ・ 5～10%
- ・ 10～30%
- ・ 30～50%
- ・ 50%以上
- ・ わからない

## セクション 4

あなたの医療機関の電子処方箋の導入状況について教えてください。

14. あなたの医療機関の電子処方箋の導入状況を教えてください。

- ・ 導入して使用している 質問 15 にスキップします
- ・ 導入しているが使用していない アンケートを終了します
- ・ 導入していない アンケートを終了します

## セクション 5

あなたの医療機関の電子処方箋の利用状況について教えてください。

15. 電子処方箋の導入後、薬剤情報に関するデータ入力に要する時間が減少/増加した。

- ・ 大幅に減少した
- ・ やや減少した
- ・ あまり変わらない
- ・ やや増加した
- ・ 大幅に増加した

16. 電子処方箋の導入後、薬剤情報の管理（問い合わせ・検索・更新・共有）

に要する時間が減少/増加した。

例：他医療機関へ患者の服薬状況を問い合わせる必要がなくなり、問い合わせに要する時間が減少した。

- ・ 大幅に減少した
- ・ やや減少した



- ・ あまり変わらない
- ・ やや増加した
- ・ 大幅に増加した

17. 電子処方箋の導入後、1つの処方箋の作成に要する時間が減少/増加した。

例：おくすり手帳等を使用して行っていた重複投薬や併用禁忌のチェックをシステム的に行うことができ、作業時間の減少に繋がった。

- ・ 大幅に減少した
- ・ やや減少した
- ・ あまり変わらない
- ・ やや増加した
- ・ 大幅に増加した

18. 電子処方箋の利用においてシステムからのレスポンス・反応速度が悪いことによる待ち時間が長いと感じる。

- ・ 非常にそう思う
- ・ ややそう思う
- ・ どちらともいえない
- ・ あまりそう思わない
- ・ 全くそう思わない

19. 電子処方箋のメンテナンスや不具合などのトラブルシューティングの業務負担が増えた。

- ・ 非常にそう思う
- ・ ややそう思う
- ・ どちらともいえない
- ・ あまりそう思わない
- ・ 全くそう思わない

20. 電子と紙の処方箋が共存することによって業務が煩雑化している。

- ・ 非常にそう思う
- ・ ややそう思う
- ・ どちらともいえない
- ・ あまりそう思わない
- ・ 全くそう思わない

21. 電子処方箋の導入によって印刷する紙の枚数が減少/増加した。

例：複数ページにわたって印刷していた処方箋が、処方箋控え 1 枚の印刷で済むようになった

- ・ 大幅に減少した
- ・ やや減少した
- ・ あまり変わらない
- ・ やや増加した
- ・ 大幅に増加した

22. 電子処方箋を使用することで重複投薬や多剤投与が減少し、処方をより安全に行えるようになったと感じる。

- ・ 非常にそう思う
- ・ ややそう思う
- ・ どちらともいえない
- ・ あまりそう思わない
- ・ 全くそう思わない

23. 電子処方箋を用いた薬歴確認によって、患者さんへの薬剤説明がしやすくなった。

オンライン資格確認を使用することで電子処方箋に登録された他医療機関での薬歴を確認することが可能です。

- ・ 非常にそう思う
- ・ ややそう思う
- ・ どちらともいえない
- ・ あまりそう思わない
- ・ 全くそう思わない

24. 電子処方箋の導入によって、患者さんの服薬アドヒアランス（薬剤の継続率、服薬の順守率）が向上したと思う。

例：電子処方箋により他の医療機関で処方された薬剤の状況を踏まえて患者さんとコミュニケーションできるようになり、薬を飲みやすくするための工夫を伝えることによって、飲み忘れや残薬防止につながった。

- ・ 非常にそう思う
- ・ ややそう思う
- ・ どちらともいえない
- ・ あまりそう思わない

- ・ 全くそう思わない

25. 電子処方箋の発行状況について教えてください。

- ・ 処方内容（控え）を発行せずに電子処方箋を発行している
- ・ 処方内容（控え）を発行し、電子処方箋を発行している
- ・ 電子処方箋対応の紙処方箋を発行している
- ・ 電子処方箋非対応の紙の処方箋を発行している（従来の紙の処方箋）
- ・ わからない